

多
く
の
人
が
参
加
し
た
り
ま
す
実
現
可
能
な
こ
と
を
ま
く
し
ま
す

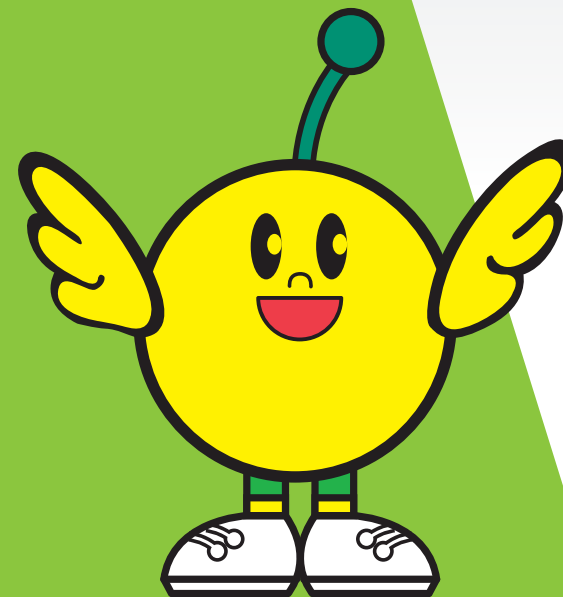
福島県 スポーツ推進基本計画 概要版

基本理念

県民の誰もが豊かなスポーツライフを
創造できる「生涯スポーツ社会の実現」

目指す姿

県民が生涯にわたってスポーツに親しみながら、
地域で心身ともに健やかに暮らすことができる
「スポーツふくしま」を実現する



令和4年3月
福島県

このリーフレットには音声コード「Uni-Voice」が右ページの右下、左ページの左下に印刷されています。スマートフォン専用アプリなどで読み取ると、音声で内容が確認できます。

sports for all



お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局スポーツ課

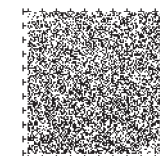
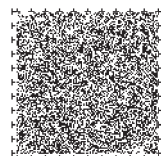
TEL.024-521-7995

E-mail sports@pref.fukushima.lg.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

福島県スポーツ推進基本計画

検索



福島県スポーツ推進基本計画概要版

計画改定の趣旨

東日本大震災・原子力災害からの復興状況、新型コロナウイルス感染症の感染対策、東京2020大会によるスポーツ活動の機運上昇などの社会情勢の変化の中、これまでの取組や成果・課題を明確にした上で、本県のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに「福島県スポーツ推進基本計画」を策定しました。

計画の特徴

4つの柱「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」「オリンピック・パラリンピックのレガシー」で構成し、「楽しむ」「競う」「ともに」「つなぐ」という視点でスポーツを捉え、施策の推進を図ります。

位置付け

- ・国のスポーツ基本法を踏まえた計画
- ・県総合計画の部門別計画

計画期間

令和4(2022)年度
～令和12(2030)年度

施策体系

施策の柱1

生涯スポーツの推進に関する取組

目標 誰もが身近な地域でスポーツを楽しむ
機会の創出

- ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - 各カテゴリーのスポーツに親しむ機会の充実
 - 子どものスポーツ機会の充実
(児童・生徒の体力向上の取組含む)
- スポーツを「みる・ささえる」機会の充実
 - スポーツ関連情報の発信
 - 観戦、応援するスポーツの促進
 - (地域)スポーツを支える人材の育成
 - スポーツボランティアの育成・活用
- スポーツ(を通じた)ネットワーク体制の強化
 - 総合型地域スポーツクラブの機能強化
 - 関係機関・団体との連携の推進
- スポーツ施設の機能強化
 - 既存施設の有効活用
 - 学校施設開放の促進
- 市町村スポーツ推進計画策定の促進
 - (市町村)セミナー等を通じたスポーツ推進計画策定の普及啓発

代表指標 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率

【主な指標】	R1	R12
	49.9%	65%

施策の柱2

競技スポーツの推進に関する取組

目標 競技力の向上に向けた持続可能な
強化体制の推進

- 競技力向上の推進
 - 各競技団体の競技力強化
 - 一貫指導体制の推進
- アスリートの発掘・育成・強化
 - 国際的な舞台で活躍するアスリートの強化支援
 - 次世代アスリートの発掘・育成・強化の支援
- 競技力の強化を支える人材の育成
 - 指導者・スタッフの育成と資質の向上
 - 若手指導者の育成
- 競技力の強化を支える環境の整備
 - スポーツ医・科学、情報等を活用した支援
 - スポーツ・インテグリティの向上
 - トップアスリートのキャリア形成の促進
 - 企業・大学・地域等との連携・協働
(運動部活動との連携含む)

代表指標 国民体育大会天皇杯順位

【主な指標】	R1	R12
	39位	20位台後半



施策の柱3

障がい者スポーツの推進に関する取組

目標 障がい者の特性に応じたスポーツ参画
機会の促進

- 障がい者のスポーツ活動・参加機会の充実
 - 障がい児・者のスポーツ活動の推進、成長に合わせたスポーツ指導
 - スポーツイベント等への参加
 - 総合型地域スポーツクラブとの連携
- パラアスリートの発掘・育成・強化
 - パラアスリートの発掘、育成支援
 - (パラ)各競技団体への支援
- 障がい者スポーツ推進体制・人材育成
 - 指導者の養成
 - ボランティアの育成
- 障がい者スポーツ推進のための環境整備
 - 活動拠点の整備
 - バリアフリー化の促進、合理的配慮の推進
(学校体育施設、公共施設)
 - 障がい者スポーツに係る用具の有効活用
- 障がい者スポーツ活動の理解促進
 - 障がい者スポーツの魅力発信
 - 障がい者スポーツ関連情報の発信
 - 観戦、応援するスポーツの促進

代表指標 障がい者スポーツ教室・大会参加者数

【主な指標】	R2	R12
	402人	6,600人



施策の柱4

オリンピック・パラリンピックのレガシーの推進に関する取組

目標 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、
スポーツによる活力ある地域づくりの推進

- スポーツ参画人口の拡大
 - 各カテゴリーのスポーツに親しむ機会の充実(再掲)
 - スポーツボランティアの育成・活用(再掲)
 - 身近な地域におけるスポーツ機会の充実
 - スポーツを通じた交流やスポーツツーリズムの促進
- アスリートが活躍する場の実現
 - 国際的な舞台で活躍するアスリートの強化支援(再掲)
 - トップアスリートのキャリア形成の促進(再掲)
 - ロールモデルアスリートの育成と活躍の推進
(総合型地域スポーツクラブとの連携)
- (パラリンピックを契機とした)共生社会型のスポーツの推進
 - 障がい者スポーツのサポーター拡大
 - 活動拠点の整備(再掲)
 - 心のバリアフリーの理解・定着促進
- オリンピック・パラリンピック教育レガシーの継承
 - 多面的な教育的価値を踏まえたスポーツ活動の促進

代表指標 あづま総合運動公園の利用者数及び
Jヴィレッジの来場者数

【主な指標】	R2	R12
	120万人	251万人

